

日付：2021年 1月 12日 (火)

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	NEC、医療機器参入 AIで大腸がん検査 Today topix + plus	日経 9	<ul style="list-style-type: none"> NECは人工知能(AI)を活用した医療機器を販売へ(国立がん研究センターと共闘) AIががんやポリープを判定する精度は9割以上で医師ががんを見つけるのを支える 今後、AIによる画像解析システムを胃がんや食道がんの検査に広げていく 今回の機器は1台400万円程度から販売。5年後に100億円の売上高を見込む 	話題(がん保障) 改めてがんの保障の最新化を訴求 (再発や通院等)
2	緊急事態宣言、 関西3府県あすにも決定 政府が調整 愛知・岐阜要請へ	日経 1	<ul style="list-style-type: none"> 政府は大阪、兵庫、京都の3府県への緊急事態宣言発令を13日にも決定する調整 3府県の新規感染者数は最も深刻なステージ4の基準「25人以上」に該当 愛知県も、岐阜県とともに宣言発令を要請すると表明。他県でも、栃木県は3連休の感染状況を踏まえて要請を検討。茨城県は病床稼働率が6割を超えた時点で要請等 	話題(創客) 創客から雑談力向上
3	「在宅勤務定着を」56% 管理職は労働時間増 郵送世論調査 コロナ、世帯の4割減収	日経 1	<ul style="list-style-type: none"> 日本経済新聞社が2020年秋に実施した郵送世論調査で、在宅勤務を「定着させるべきだ」と答えた人は56%で、若年層ほど高かった。10~30代は76%、40~50代は60% 労働時間は、管理職に相当する層で労働時間が1年前より長くなった。 生活が「大きな制約を受けている」と「一部に制約を受けている」の合計は8割を超えた。世帯収入が1年前と比べて「減少傾向」の回答が41%で、19年調査から7ポイント高まる 	話題(採用) 世帯収入4割減収の話題から、採用 情報・リストアップの再整備、最新化
4	ポストコロナの都市政策(7) コロナ禍が助長する 住宅過剰社会	日経 11	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、住宅市場に変化。ニューヨーク市では、郊外や他都市への人口流出が進む 一方、日本の大都市では、海外に比べると影響が少ないという見方 特に三大都市圏などの拠点都市中心部では、「住宅なら売れる」と見込み、コロナ禍で店舗が撤退・閉店した土地をターゲットに、ミニ戸建てや分譲マンションを建設する動き 課題は、拠点としての機能低下や小学校増築などの後追いつ的な公共投資が必要の可能性。現状は、住宅過剰社会を助長傾向。長期的に視点が肝要 	話題(必要保障) 住宅保有状況の把握 住宅購入資金の積み立て方法や、 住宅購入後の必要保障の見直し等

Today's アドバイス

今日は何の日	本日の言葉
<ul style="list-style-type: none"> スキーの日 桜島の日 	美しく立派な、よい心を持った相手を待っていることは難しいことです。しかし、待つことによって、幸福は増しこそすれ、減ることはありません。 /シャルル・ペロー(詩人)

定期預金金利 (1,000万以上/10年)	0.002%	国債(10年) 360回	0.040% 0.005	米国債(10年) 中国国債(10年)	1.134%/ 3.209%	0.027 0.015
日経平均	27,490.13 434.19	ダウ平均	31,008.69 -89.28	韓国総合指数 KOSPI	3,148.45 -3.73	
コロナり患者数 (国内)	294,272 4,872	コロナ死者数	4,124 44	コロナ罹患患者数 (世界)	90,279,510 641,826	
インフルエンザり患者 (12月21~27日)	70人 (昨年105,221人)	参考:2018年 罹患患者数/死者数	約1200万人 /3,325人	インフルエンザ ワクチン供給量	約3,178万本 (6,300万人分)	

おもしろい本を紹介：大腸がんになり患するリスク要因！？

しつもん

みなさんは、赤身肉や加工肉（牛豚羊などの肉。鶏肉は含まない）を一日76g、食べていますか？

そんな
みなさんは…

大腸がんのリスクが高い！？

研究結果によれば、おおよそ政府推奨基準内である赤身肉と加工肉の**1日あたり摂取量約76g**を食べる人は、1日あたり約21g食べる人よりも**大腸がんを発症する可能性が20%高くなる**と示唆。

この10年以上に渡り、加工肉および赤身肉とがんとの関連性を示す証拠が示され、その証拠は積み上がってきています。2015年に、国際がん研究機関（IARC、研究レビューに関し検討・報告を行う専門家集団）が加工肉を「確定的」ながんの原因として分類しています。これにより**ベーコン**が、がんの原因として**タバコと同カテゴリに属すること**となったのです。

加工肉や赤身肉ががんの原因となる仕組みは？

これまでのところ、研究では、次の3種類の化学物質が大腸がんリスクの上昇に関連するとされています。これらの化学物質は肉に通常含有されているもの、加工過程で添加されているもの、あるいは調理中に生成するものがあります。

- **ヘム（赤身肉に多く含まれる赤い色素）**
- **硝酸塩と亜硝酸塩（加工肉の鮮度維持・防腐目的で使用）**
- **複素環式アミンと多環式アミン（肉を高温調理する際に生成される）**

3種類の化学物質すべてが腸の細胞にダメージを与えている可能性があり、このダメージが長期間にわたり積み重なるとがんリスクが高まります。

TOPIX

- 食べる量を半分にして、野菜や豆などに置き換える等工夫！ソーセージやベーコンを2本食べず1本にする
- ミートフリーデー（肉を食べない日）を設け、肉を全く食べない日を1日（数日でもよい）設ける
- ビヨンドミート等の植物性代替肉を体験してみる 等々

参考)英国がん研究センターUK、一般社団法人 日本癌医療翻訳アソシエーツ(JAMT)

本資料は、個人の見解をまとめたものとなっています。参考にさせていただいたサイトはリンク等を掲載しております。また、当社のコンテンツ・情報につきまして、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めておりますが、必ずしもそれらの正確性や安全性等を保証するものではありません。誤情報が入り込んだり、情報が古くなっていることもございます。万が一、当社に掲載された内容によって発生したトラブルや損害等の一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承くださいようお願いいたします。お問い合わせ等は下記URLまでご照会ください。当コンテンツは、著作権法上の保護を受けています。著作権者の許諾を得ずに、当コンテンツの一部または全部を無断で複製・複製・転載することは禁じられております(<https://labo-ks.co.jp/>)。 © 2021 k'sらぼ株式会社